B1FH-A534-01

# GRANPOWER5000 モデル 380 取扱説明書
# 追補版

FUJITSU

# はじめに

このたびは、弊社の GRANPOWER5000 モデル 380 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本サーバに添付されております「GRANPOWER5000 モデル 380(1998 年 11 月発表タイプ ) 取扱説明書 (B1FH-4891-02)」に内容の追加／変更がございましたので、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読み下さるようお願いいたします。

1999 年 10 月

当社のドキュメントには「外国為替および外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

本装置は、社団法人日本電子工業復興協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

( 社団法人日本電子工業復興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示 )

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置は、社団法人日本電子工業復興協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

高調波ガイドライン適合品

EGA/VGA、PS/2 は、米国 IBM の米国での登録商標です。

Pentium および LANDesk は、米国インテル社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

NetWare は、米国ノベル社の商標です。

IntranetWare、GroupWise は米国ノベル社の米国における商標です。

その他の各製品は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved,Copyright © 富士通株式会社 1999

画面の使用に際しては、Micsorosoft Corporation の許諾を受けています。

# 安全上のご注意

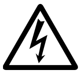
## 警告表示の意味

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。** |
| ⚠注意 | **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。** |

**また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。**

感 電



**△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は感電注意）が示されています。**

分 解

**⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。**

プラグ

**●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。**

# 目　次


1.　1999 年 10 月発表タイプの追加／変更点 .............................. 1

2.　追加／変更内容の詳細 .............................. 2

2.1 OS .............................. 2

2.2 内蔵オプション .............................. 3

2.2.1 内蔵ハードディスクユニットの取り付け .............................. 3

■ 内蔵ハードディスク取り付け時の注意事項 .............................. 4
■ 取り付け手順 .............................. 4
■ 3.5 インチストレージベイからの取り外し手順 .............................. 5
■ 5 インチ内蔵オプションの搭載条件 .............................. 6

2.2.2 5 インチストレージベイへの内蔵オプションの取り付け／取り外し .............................. 6

2.2.3 拡張カードについて .............................. 7

■ 搭載可能な拡張カード .............................. 8
■ 拡張カードの搭載順について .............................. 9
■ 取り付けの手順と注意 .............................. 11

2.2.4 電源ユニット増設時の留意事項 .............................. 13

■ 電源ユニット増設条件 .............................. 13

2.3 ソフトウェアのインストール .............................. 14

2.3.1 使用するドライバ .............................. 14

2.3.2 SBS 4.5 のインストール .............................. 15

■ インストール時の留意事項 .............................. 15
■ インストール手順 .............................. 15
■ SBS 4.5 インストール後の注意事項 .............................. 19
■ システム修復ディスクについて .............................. 20
■ 管理ソフトウェアのインストール .............................. 21

2.3.3 その他の留意事項 .............................. 22

2.3.4 NetWare 4.2 のインストール .............................. 23

2.3.5 NetWare 5 ご使用時の運用上の留意事項 .............................. 25

■ NetWare5 オプションカードご使用時の留意事項 .............................. 25
■ NetWare5 高負荷運用時の留意事項 .............................. 25

2.4 仕様 .............................. 26

2.4.1 本体仕様 .............................. 26

2.4.2 内蔵ハードディスクユニットの仕様 .............................. 29

3.　「GRANPOWER5000 モデル 380(1998 年 11 月発表タイプ ) 取扱説明書 (B1FH-4891-02)」の訂正 .............................. 30

# 1. 1999 年 10 月発表タイプの追加／変更点

GRANPOWER5000 モデル 380(1998 年 11 月発表タイプ）では、以前のタイプに比較して以下の点が異なります。
以下に、変更内容を示します。「参照箇所」に示すページを参照してください。

| 分類 | 変更内容 | 参照箇所 | B1FH-4891-02 の参照ページ |
|---|---|---|---|
| OS | 新規サポート OS<br>• SBS 4.5<br>• NetWare 4.2 | •「2.1 OS」（→ 2 ページ） | − |
| | | •「2.3.2 SBS 4.5 のインストール」（→ 15 ページ） | 188 ページ<br>205 ページ |
| | | •「2.3.4 NetWare 4.2 のインストール」（→ 23 ページ） | 186 ページ<br>226 ページ<br>228 ページ |
| 内蔵オプション | 新規サポート拡張カード<br>• SCSI カード（GP5-127）<br>• SCSI アレイコントローラカード（GP5-146）<br>• LAN カード (GP5-185)<br>• クラスタキット 4（GP5S634）<br>内蔵ハードディスクユニット（SCSI）の変更<br>電源ユニット増設条件の変更 | •「2.2.1 内蔵ハードディスクユニットの取り付け」（→ 3 ページ） | 141 ページ |
| | | •「2.2.2 5 インチストレージベイへの内蔵オプションの取り付け／取り外し」（→ 6 ページ） | 145 ページ |
| | | •「2.2.3 拡張カードについて」（→ 7 ページ） | 152 ページ<br>156 ページ |
| | | •「2.2.4 電源ユニット増設時の留意事項」（→ 13 ページ） | 179 ページ |
| 仕様 | Pentium®III 600MHz タイプの追加<br>内蔵ハードディスクユニット（SCSI）の変更 | •「2.4.1 本体仕様」（→ 26 ページ） | 284 ページ |
| | | •「2.4.2 内蔵ハードディスクユニットの仕様」（→ 29 ページ） | − |

以降に、各追加内容および変更内容の詳細を示します。
「GRANPOWER5000 モデル 380(1998 年 11 月発表タイプ ) 取扱説明書 (B1FH-4891-02)」の関連ページを各見出し横に記載しています。その関連ページの記事を読み替えていただきますようお願いいたします。
また、「3 「GRANPOWER5000 モデル 380(1998 年 11 月発表タイプ ) 取扱説明書 (B1FH-4891-02)」の訂正」（→ 30 ページ）に誤記について説明しています。併せてお読みいただきますようお願いいたします。

# 2． 追加／変更内容の詳細

## 2.1 OS

**本サーバでは SBS 4.5 を新規にサポートします。**

SBS 4.5 のインストール方法については、「2.3 ソフトウェアのインストール」（→ 14 ページ）を参照してください。

## 2.2　内蔵オプション

**・サポートする内蔵ハードディスクユニット（SCSI 規格）に「GP5-HDH96/GP5-HDH83」が追加されています。**
**・ブランクディスクユニットの形状が変更されています。**
**・サポート拡張カードが追加／変更されています。**
**・電源ユニット増設条件が変更されています。**

これに伴い、取扱説明書（B1FH-4891-02）の以下の記事が変更となります。

- 「5.6.3 内蔵ハードディスクユニットの取り付け」
- 「5.6.4 5 インチストレージベイへの内蔵オプションの取り付け／取り外し」
- 「5.7.1 拡張カードの種類」の■ 搭載可能な拡張カード
- 「5.8.1 電源ユニット増設時の留意事項」

以降に説明する記事に読み替えていただきますようお願いいたします。

### 2.2.1　内蔵ハードディスクユニットの取り付け

（ B1FH-4891-02 → 141 ページ）

**⚠注意**

- **ハードディスクユニットを乱暴に取り扱うと、内部のデータが破壊されることがあります。**
- **万が一の事態に備えて、重要なデータは常にバックアップをとるようにしてください。また、別のハードディスクユニットにバックアップをとるときは、ファイル単位または区画単位でバックアップすることをお勧めします。**
- **湿気やほこりや浮遊物の少ないところで使用してください。**
- **衝撃や振動の加わる場所での使用や保管は避けてください。**
- **直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。**
- **極端な高温や低温の場所、また温度変化の激しい場所での使用、保管は避けてください。**
- **ハードディスクユニットは絶対に分解しないでください。**
- **内蔵ハードディスクユニットをぶつけたり、金属質のものを接触させたりしないよう十分注意し、取り扱ってください。**

3.5 インチストレージベイには、以下に示すオプションの内蔵ハードディスクユニットを最大 8 台まで取り付けることができます。。

| 品名 | 型名 | 備考 |
| --- | --- | --- |
| **内蔵ハードディスクユニット** 9GB | GP5-HDH96 | 9.1GB　7,200rpm |
| **内蔵ハードディスクユニット** 18GB | GP5-HDH83 | 18.2GB　7,200rpm |

3.5 インチストレージベイは、SCSI-ID の設定が不要です。

3.5 インチストレージベイは、ホットプラグを採用したベイで、内蔵ハードディスクユニットとのインタフェースに SCA2（Single Connector Attachment2）コネクタを採用しています。電源ケーブルと信号ケーブルを一体化しているため、煩わしいケーブル接続が一切不要となります。

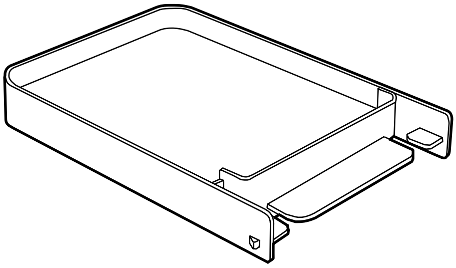
3.5 インチストレージベイへの内蔵ハードディスクユニットの取り付け時の注意事項と手順について以下に示します。

## ■ 内蔵ハードディスク取り付け時の注意事項

内蔵ハードディスクユニットを 5 台以上取り付ける場合は、電源ユニットの増設が必要です。詳細は、「5.8 電源ユニットの取り付け／取り外し」を参照してください。

## ■ 取り付け手順

本サーバでは、以下のブランクディスクユニットが取り付けられている機種があります。

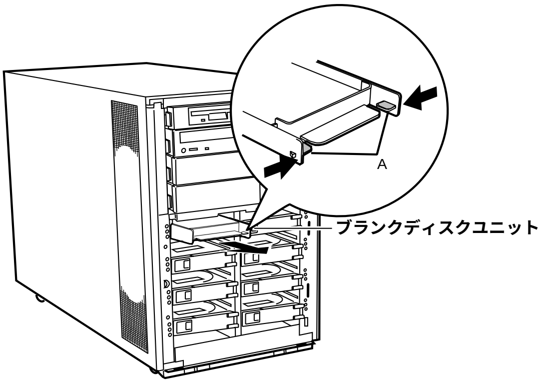


上図のブランクディスクユニットが取り付けられている場合の、取り外し手順を以下に示します。

1 **電源を切断し、フロントパネルを取り外します。**
（「5.2 フロントカバー・サイドカバーの取り外し」を参照）

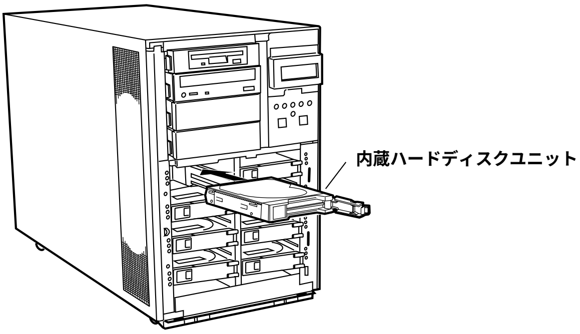
2 3.5 **インチストレージベイ保護カバーを取り外します。**
3.5 **インチストレージベイカバーの左側** 2 **箇所のネジをゆるめ、右側に開けます。**
3.5 **インチストレージベイ保護カバーを少し持ち上げて、取り外します。**

3 **内蔵ハードディスクユニットを取り付けるベイから、ブランクディスクユニットを取り外します。**
内蔵ハードディスクユニットが搭載されていないベイには、ブランクディスクユニットが取り付けられています。
ブランクディスクユニットのツメ（図中 A）を内側に押しながら手前にゆっくりと引き出します。
取り外したブランクディスクユニットは、保存しておきます。




4　**3.5 インチストレージベイに内蔵ハードディスクユニットを取り付けます。**

内蔵ハードディスクユニットのプラスチックレバーを開いた状態で、搭載する 3.5 インチストレージベイに内蔵ハードディスクユニットを図中の矢印の方向に押し込みます。




5　**プラスチックレバーをカチッと音がするまで左側に閉じます。**

6　**3.5 インチストレージベイ保護カバーを取り付けます。**

3.5 インチストレージベイ保護カバーを 3.5 インチストレージベイの前面 2 箇所の取り付け穴に引っかけるようにして取り付けます。
閉じるときは、3.5 インチストレージベイ下側のイントリュージョンスイッチが保護カバーの内側になっているかを確認してから取り付けてください。

7　**フロントカバーを取り付けます。**

## ■ 3.5 インチストレージベイからの取り外し手順

1　**電源を切り、フロントカバーを取り外します。**

2　内蔵ハードディスクユニットを取り外します。

取り出したい内蔵ハードディスクユニットのプラスチックレバーを手前に引っぱり、内蔵ハードディスクユニットをベイから取り外します。

### ■ 5 インチ内蔵オプションの搭載条件

- 内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット（GP5-ML301）／内蔵 DLT ユニット（GP5-DL351）搭載時は、別途 SCSI カード（GP5-127）が必要です。

## 2.2.2 5 インチストレージベイへの内蔵オプションの取り付け／取り外し

**内蔵 DLT ユニット（GP5-DL351）を搭載する場合は、電源ユニットの増設が必要です。**

これに伴い、取扱説明書（B1FH-4891-02）の以下の記事が変更となります。

- 「5.6.4 5 インチストレージベイへの内蔵オプションの取り付け／取り外し」の「・5 インチ内蔵オプションの搭載条件」（ B1FH-4891-02 → 145 ページ）

「・5 インチ内蔵オプションの搭載条件」内の表を以下のように読み替えていただきますようお願いいたします。

| 5 インチ内蔵オプション | 搭載条件 |
|---|---|
| 内蔵 DLT ユニット | ベイ 2 およびベイ 3 の 2 ベイを占有<br>GP5-DL351 を搭載する場合は、電源ユニットを増設する必要があります。 |

電源ユニットの増設方法については、取扱説明書（B1FH-4891-02）の「5.8 電源ユニットの取り付け／取り外し」を参照してください。

### 2.2.3　拡張カードについて

| |
|---|
| **新規に以下の拡張カードをサポートします。**<br>• SCSI **カード**（GP5-127）<br>• SCSI **アレイコントローラカード**（GP5-146）<br>• LAN **カード**（GP5-185）<br>• **クラスタキット** 4（GP5S634） |

これに伴い、取扱説明書（B1FH-4891-02）の以下の記事が変更となります。

- 「5.7.1 拡張カードの種類」
- 「5.7.3 取り付けの手順と注意」

以下に説明する記事に読み替えていただきますようお願いいたします。

## ■ 搭載可能な拡張カード

（ B1FH-4891-02 → 152 ページ）

本サーバに搭載可能な拡張カードを以下に示します。

| 拡張カード | 型名 | バス | 搭載最大枚数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| SCSI アレイコントローラカード | GP5-142 | PCI | 1 | 内蔵アレイシステム用 |
| SCSI アレイコントローラカード | GP5-144 | PCI | 3 | 内蔵・外付けアレイシステム用、GP5-142 との同時搭載不可<br>NetWare / IntranetWare での使用不可 |
| SCSI アレイコントローラカード | GP5-145 | PCI | 2 | 内蔵・外付けアレイシステム用、GP5-142 との同時搭載不可 |
| **SCSI アレイコントローラカード** | **GP5-146** | **PCI** | **2** | **内蔵・外付けアレイシステム用、GP5-142 との同時搭載不可<br>NetWare / IntranetWare での使用不可** |
| SCSI カード | GP5-123 | PCI | 2 | アレイ装置接続用 |
| **SCSI カード** | **GP5-127** | **PCI** | **3** | **GP5S622 / GP5-R1DC4 接続用<br>GP5-M301 / GP5-DL351 接続にも使用** |
| ファイバーチャネルカード | GP5-FC101 | PCI | 2<br>合計最大 3 | アレイ装置接続用 |
| LAN カード (10BASE-5/2/T) | GP5-181 | PCI | 3 | |
| LAN カード (1000BASE-SX) | GP5-183 | PCI | 1 | |
| **LAN カード (100BASE-TX / 10BASE-T)** | **GP5-185** | **PCI** | **3** | |
| ATM-LAN カード | FMV-187 | PCI | 1 | |
| MSL キット | FMS-193 | PCI | 1 | |
| クラスタキット 2 | GP5S632 | PCI | 1 | |
| **クラスタキット 4** | **GP5S634** | **PCI** | **1<br>合計最大 3** | |
| 通信カード V/X | GP5-163 | PCI | 2 | FMV-167 との同時搭載不可 |
| ISDN カード | GP5-165 | PCI | 2 | FMV-166 との同時搭載不可 |
| RS232C カード | GP5-162 | PCI | 2<br>合計最大 3 | FMV-165 との同時搭載不可 |
| ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード | GP5-161 | PCI | 4 | |
| サーバモニタモジュール | GP5-SM102 | PCI | 1<br>合計最大 4 | LDSM V6.0 が必須 |
| 通信カード V/X | FMV-167 | ISA | 2 | GP5-163 との同時搭載不可 |
| ISDN カード | FMV-166 | ISA | 2 | GP5-165 との同時搭載不可 |
| RS232C カード | FMV-165 | ISA | 2 | GP5-162 との同時搭載不可 |
| FAX モデムカード | FMV-FX531 | ISA | 2 | |
| 音声処理カード | FMV-FH718 | ISA | 1<br>合計最大 2 | |

## ■ 拡張カードの搭載順について

各拡張カードは次の表のとおりに搭載しないと、拡張カードが正常に動作しません。

各拡張カードは次の表の左側の拡張カードから優先して使用し、○付数字の順にスロットを使用してください。

| スロット | サーバモニタモジュール GP5-SM102 | SCSI アレイコントローラカード | | | SCSI カード GP5-123 GP5-127 ファイバーチャネルカード GP5-FC101 | その他の PCI カード (*4) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | GP5-142 | GP5-145 **GP5-146** (*1) (*3) | GP5-144 (*2) (*3) | | |
| PCI スロット 1-1 | ① | − | − | − | − | ① |
| PCI スロット 1-2 | − | ① | ② | ③ | ① | ② |
| PCI スロット 1-3 | − | − | ① | ② | ② | ③ |
| PCI スロット 2-1 | − | − | − | ① | ③ | ④ |
| PCI スロット 2-2 (*5) | − | − | − | − | − | ⑤ |

−：搭載不可を示す

*1）　：GP5-145 / GP5-146 は、GP5-142 と同時に搭載できません。

*2）　：GP5-144 は、GP5-142 と同時に搭載できません。

*3）　：GP5-145 / GP5-146 と内蔵ハードディスクユニットを使用して、アレイシステムを構築する場合、搭載できる SCSI アレイコントローラカード（GP5-144 / GP5-145）は最大 2 枚です。
この場合、追加で搭載する SCSI アレイコントローラカード（GP5-144 / GP5-145）は、PCI スロット 1-2 に搭載してください。

*4）　：MSL キット（FMS-193）は、PCI スロット 2-1、PCI スロット 2-2 にだけ搭載できます。

*5）　：PCI スロット 2-2 は、ISA スロット 1-2 と共用です。

SCSI アレイコントローラカードを PCI スロットに搭載するときの、搭載可能な組み合わせを以下に示します。
なお、型名の横に (OS) が付いている SCSI アレイコントローラカードに接続されているハードディスクに OS をインストールする必要があります。

| | PCI **スロット** 1-2 | PCI **スロット** 1-3 | PCI **スロット** 2-1 |
|---|---|---|---|
| **搭載可能なパターン** | GP5-142(OS) | – | – |
| | – | – | GP5-144(OS) |
| | – | GP5-144 | GP5-144(OS) |
| | – | GP5-145 | GP5-144(OS) |
| | – | GP5-146 | GP5-144(OS) |
| | GP5-144 | GP5-144 | GP5-144(OS) |
| | GP5-144 | GP5-145 | GP5-144(OS) |
| | GP5-144 | GP5-146 | GP5-144(OS) |
| | GP5-145 | GP5-145 | GP5-144(OS) |
| | GP5-145 | GP5-146 | GP5-144(OS) |
| | GP5-146 | GP5-145 | GP5-144(OS) |
| | GP5-146 | GP5-146 | GP5-144(OS) |
| | – | GP5-145(OS) | – |
| | – | GP5-146(OS) | – |
| | GP5-144 | GP5-145(OS) | – |
| | GP5-144 | GP5-146(OS) | – |
| | GP5-145 | GP5-145(OS) | – |
| | GP5-145 | GP5-146(OS) | – |
| | GP5-146 | GP5-145(OS) | – |
| | GP5-146 | GP5-146(OS) | – |

## ■ 取り付けの手順と注意

（ B1FH-4891-02 → 156 ページ）

ここでは、拡張カードの取り付け手順と注意事項について説明します。

**⚠警告**

感 電

取り付けるときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。感電の原因となります。

**⚠注意**

指 示

拡張カードは静電気の影響を受けやすいので、伝導パッドなどの上に置くか、取り扱う直前まで梱包袋に入れておいてください。

1 **システム資源を設定／確認します。**

PCI カードを取り付ける場合は、BIOS セットアップユーティリティの「Advanced Configuration メニュー」の「PnP/PCI System Configuration」メニューで、「PCI IRQ Setting」が「Manual」であることを確認し、各カードに対して IRQ を設定してください。

また、ISA カードを取り付ける場合は、あらかじめ ICU を実行して、ISA カードの追加、システムの資源使用状況の確認、システムコンフィグレーションの保存を行ってください。

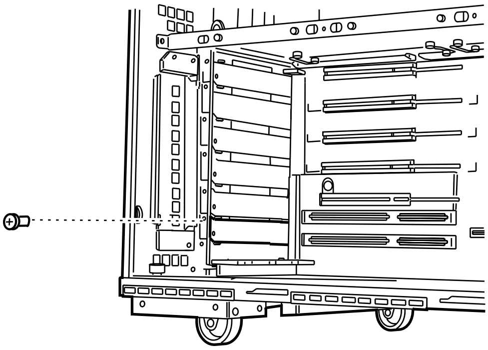
（「4.4.11 Advanced Configuration メニュー」または、「4.6 ISA コンフィグレーションユーティリティ (ICU) を使う」を参照）

2 **電源を切り、フロントカバー／サイドカバーを取り外します。**

（「5.2 **フロントカバー／サイドカバーを取り外**し」を参照」）

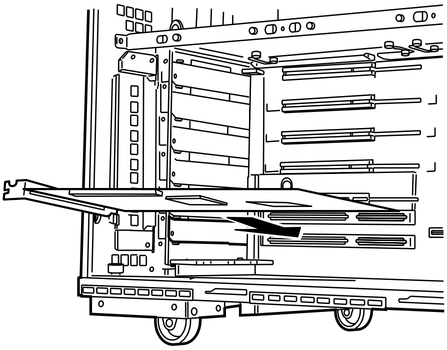
3 **スロットカバーを取り外します。**

ネジを外し、スロットカバーを取り外します。



4 **拡張カードをコネクタに取り付けます。**

拡張カードをコネクタにしっかりと取り付けます。



5 **拡張カードを固定します。**

手順 3 で取り外したネジで拡張カードを固定します。

6 **サイドカバー／フロントパネルを取り付けます。**

**ポイント**

- **取り外したスロットカバーは大切に保管しておいてください。**
- **取り外しは、上記と逆の手順で行います。**

## 2.2.4　電源ユニット増設時の留意事項

**内蔵 DLT ユニット（GP5-DL351）を搭載する場合は、電源ユニットの増設が必要です。**

これに伴い、本体取扱説明書（B1FH-4891-02）の以下の記事が変更となります。

- 「5.8.1 電源ユニット増設時の留意事項」の「・電源ユニット増設条件」

以降に説明する記事に読み替えていただきますようお願いいたします。

### ■ 電源ユニット増設条件

（ B1FH-4891-02 → 179 ページ）

以下の条件のうち、どれか一つでも条件を満たすシステム構成とする場合は、電源ユニットを増設する必要があります。

- CPU を 2 個搭載するとき
- 内蔵ハードディスクユニットを 5 台以上搭載するとき
- PCI カードを 3 枚以上搭載するとき
- 内蔵 DLT 装置（GP5-DL351）を搭載するとき

## 2.3　ソフトウェアのインストール

**本サーバは、SBS 4.5 を新規にサポートしています。以下の手順にしたがって SBS 4.5 をインストールしてください。**

また、これに伴い、本体取扱説明書（B1FH-4891-02）の以下の記事が変更となります。

- 「6.1 OS インストール時の注意」の「■ 使用するドライバ」

以降に説明する記事に読み替えていただきますようお願いいたします。

### 2.3.1　使用するドライバ

( B1FH-4891-02 → 188 ページ)

本サーバで、オンボード LAN やオンボード SCSI、および拡張カードを使用する場合には、それぞれ以下に示すドライバをインストールしてご使用ください。

| OS | Windows NT Server 4.0<br>Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0 ( クラスタ構成時 )<br>SBS4.0<br>SBS4.5 | IntraneWare<br>NetWare 3.3J | NetWare 5 |
|---|---|---|---|
| 標準 I/O | | | |
| グラフィックコントローラ | 本サーバ添付のディスプレイドライバ<br>( セットアップディスク #4) | OS 標準提供ドライバ | OS 標準提供ドライバ |
| CD-ROM | OS 標準提供ドライバ | 本サーバ添付の CD-ROM ドライバ<br>( セットアップディスク #4) | OS 標準提供ドライバ |
| LAN | | | |
| オンボード LAN | 本サーバ添付の LAN ドライバ<br>(GP5-185 搭載時は、GP5-185 添付の LAN ドライバ ) | 本サーバ添付の LAN ドライバ<br>(GP5-185 搭載時は、GP5-185 添付の LAN ドライバ ) | OS 標準提供ドライバ |
| LAN カード<br>(GP5-181) | 本サーバ添付の LAN ドライバ<br>(GP5-185 を同時に搭載した時は、GP5-185 添付の LAN ドライバ ) | 本サーバ添付の LAN ドライバ<br>(GP5-185 を同時に搭載した時は、GP5-185 添付の LAN ドライバ ) | OS 標準提供ドライバ |
| クラスタキット<br>(GP5S632/GP5S634) | LAN カードに添付のドライバ<br>(GP5-185 を同時に搭載した時は、GP5-185 添付の LAN ドライバ ) | − | − |
| その他の LAN カード | LAN カードに添付のドライバ | LAN カードに添付のドライバ | OS 標準提供ドライバ |
| SCSI | | | |
| オンボード SCSI | 本サーバ添付の SCSI ドライバ<br>( セットアップディスク #3) | 本サーバ添付の SCSI ドライバ<br>( セットアップディスク #3) | OS 標準提供ドライバ |
| SCSI カード | SCSI カードに添付のドライバ<br>クラスタ構成時は OS 標準提供ドライバ | SCSI カードに添付のドライバ<br>クラスタ構成時は OS 標準提供ドライバ | OS 標準提供ドライバ |
| SCSI アレイコントローラカード | SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ | SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ | SCSI アレイコントローラカードに添付のドライバ |
| 拡張 | | | |
| LAN/SCSI カード以外の拡張カード | カード添付のドライバ | カード添付のドライバ | OS 標準提供ドライバ |

## 2.3.2　SBS 4.5 のインストール

（ B1FH-4891-02 → 205 ページ）

ここでは、SBS 4.5 を初めてサーバにインストールする方法について説明します。

### ■ インストール時の留意事項

- インストールを開始する前に、SBS 4.5 に添付の「Small Business Server ファーストステップガイド」をご一読ください。
- FAX モデムカードを搭載する場合の注意事項
  FAX モデムカード (FMV-FX531) を使用する場合は、SBS 4.5 をインストールする前に、FAX モデムカードのシステム資源などを設定する必要があります。設定方法については、「5.7.10 FAX モデムカード」を参照してください。
- FAX モデムカードドライバをインストール時の注意事項
  SBS 4.5 インストール後、FAX モデムカード (FMV-FX531) をインストールするときは、本サーバに添付されている「内蔵 FAX モデム CFG ファイル」のフロッピィディスクを使用してください。FAX モデムカードに添付されている「Microsoft® Windows® 95 FMV-FX531 INF file」フロッピィディスクは使用しないでください。このフロッピィディスクは Windows95 用です。
- SBS 4.5 のインストールにはディスク容量 2GB 以上の空き容量が必要です。

### ■ インストール手順

以下に、SBS 4.5 をインストールする手順について説明します。SBS 4.5 のインストールは、Windows NT Server 4.0 と基本的に同じです。ここでは、Windows NT Server 4.0 のインストール手順と異なる箇所を中心に説明します。

以下の説明では、次の装置を対象にしています。

- サーバ本体に標準実装の SCSI ホストアダプタ配下に SBS 4.5 をインストールするハードディスクが接続されており、またサーバ本体内にネットワークカードおよび FAX モデムカード (FMV-FX531) が装着されている装置を対象にしています。
- SCSI アレイコントーラカードをご使用の場合
  サーバ本体に実装の SCSI アレイコントローラカード配下に SBS 4.5 をインストールするハードディスクが接続されており、またサーバ本体内にネットワークカードおよび FAX モデムカード (FMV-FX531) が装着されている装置を対象にしています。

1 **電源投入前に SBS 4.5 セットアップディスク #1 をセットします。**

SBS 4.5 セットアップディスク＃１をフロッピィディスクドライブにセットし、サーバに電源を入れます。
このとき、CD-ROM ドライブに CD-ROM が入っていないことを確認してください。

2 **以降は、Windows NT Server 4.0 のインストール手順とほぼ同様です。**

「6.3.3 Windows NT Server 4.0 のインストール」の「■インストール手順」の手順 2 〜 8 を参照してください。

3 Windows NT **をインストールするハードディスクユニットのパーティションを選択する旨のメッセージが表示されます。**

画面に従って、2GB のパーティションを作成します。

必ず NTFS ファイルシステムでフォーマット後、インストールを続行してください。

4 **メッセージに従って、インストールを続行してください。**

5 SCSI **ドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。**

**次のラベルのついたディスクをドライブ** `A:` **に挿入してください**

「`Symbios Logic PCI (53c8xx)`」

が表示されたら、本体添付のセットアップディスク #3 をフロッピィディスクドライブにセットして [Enter] キーを押してください。

6 SCSI **アレイコントローラカードをご使用の場合、**SCSI **アレイコントローラカードドライバのフロッピーディスクを要求する画面が表示されます。**

**次のラベルのついたディスクをドライブ** `A:` **に挿入してください**

`[GP5-142` **搭載時** `]`

「`DAC960 Software Kit Version 1.0`

`[GP5-144/GP5-145/GP5-146` **搭載時** `]`

「`GP5-143/144/145/146 Windows NT Drivers Disk`」

が表示されたら、SCSI アレイコントローラカードソフトウェアキットまたはドライバディスクをフロッピィディスクドライブにセットして [Enter] キーを押してください。

7 **自動的に再起動します。**

このとき、再起動処理が開始したらすぐに、フロッピィディスクドライブからフロッピィディスクを取り出してください。

8 **再起動後、画面に従ってインストールを続行してください。**

再起動後、「無効なディスプレイ設定」画面が表示されますが、セットアップを続行してください。

なお、ディスプレイドライバを入れ替えるまでこのメッセージが表示されますが、インストールには問題ありません。

9 FAX **モデムカードドライバをインストールします。**

セットアップ中に FMV-FX531 を搭載した場合、COM3 に「未検出のモデム」として検出します。

- [ 変更 ] をクリックします。
- RAS の再編成に関するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。
- モデムのプロパティのダイアログボックスが表示されますので、[ 削除 ] をクリックし続いて [ はい ] をクリックします。
- [ 追加 ] をクリックし、「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、[ 次へ ] をクリックします。
- [ ディスク使用 ] をクリックし、本体添付の「内蔵 FAX モデム CFG ファイル」フロッピィディスクをフロッピィディスクドライブにセットし、[OK] をクリックします。
- 「FMV-FX531」を選択し、[ 次へ ] をクリックします。

- 「選択したポート」の「COM3」を選択し [ 次へ ] をクリックします。
- 「システムを再起動する必要があります」というメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。
- 「所在地情報」のダイアログボックスが表示されますので、必要な情報を入力し、[ 次へ ] をクリックします。
- [ 完了 ] をクリックします。
- [ 閉じる ] をクリックし、「モデムのプロパティ」のページを閉じます。
- ダイヤルネットワークの構成に関するダイアログボックスが表示されますので、「未検出のモデム」を選択し、[ 削除 ] をクリックします。
- ポート COM3 を削除するかどうかのメッセージが表示されますので、[ はい ] をクリックし、続いて [ 追加 ] をクリックします。
- 「RAS デバイスの追加」のダイアログボックスが表示されますので、「COM3-FMV-FX531」を選択し [OK] をクリックし、続いて [ 続行 ] をクリックします。
- 今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[ はい ] をクリックします。
- 再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

⚠注意

**再起動時の注意**
インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1 分ほど待ってから、再起動してください。

## 10 再起動後、本体添付の LAN ドライバをインストールします。

- セットアップ中に「ハードウェア確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[ 変更 ] をクリックします。
- コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 「ネットワーク」ダイアログボックスの「アダプタ」タブを選択し、現在表示されている「Intel 82557-based Ethernet PCI Adapter」を選択し、[ 削除 ] をクリックします。
- コンピュータを再起動します。
- 再起動後、LAN ドライバが無いためイベントログに複数のエラーが記録されますが無視してください。再度「ハードウェアの確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[ 変更 ] をクリックします。
- コントロールパネルが表示されますので、「ネットワーク」をダブルクリックします。
- 「ネットワーク」ダイアログボックスの「アダプタ」タブを選択し、[ 追加 ] をクリックします。
- [ ディスク使用 ] をクリックし、本体添付の LAN ドライバの組み込みを行ってください。

- LAN ドライバのインストール方法に関する詳細は、それぞれ以下を参照してください。

ー LAN カード（GP5-185）を同時に搭載する場合は、LAN カード（GP5-185）に添付のマニュアル

ー LAN カード（GP5-185）を同時に搭載しない場合は、「6.5.1 Windows NT Server 対応 LAN ドライバ」

TCP/IP のパラメータには、以下の値を設定してください。

**IP アドレス：**10.0.0.2
**サブネット マスク：**255.255.255.0
**プライマリ WINS サーバー：**10.0.0.2
**セカンダリ WINS サーバー：**10.0.0.2

- 今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[ はい ] をクリックします。
- 再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

### 11 再起動後、本体添付のディスプレイドライバをインストールします。

> ⚠注意
>
> 再起動時の注意
> **インストールの途中で、セットアップププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1 分ほど待ってから、再起動してください。**

- セットアップ中に「ハードウェア確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[ 変更 ] をクリックします。
- コントロールパネルが表示されますので、「画面」をダブルクリックします。
- 「無効なディスプレイ設定」画面が表示されていますので [OK] をクリックします。
- ［ディスプレイの種類 ]─[ 変更 ]─[ ディスク使用 ] をクリックします。
- サーバ本体添付のセットアップディスク #4 をフロッピードライブに挿入し、[ 参照 ] をクリックします。
- 「NT40」ディレクトリから「atirage.inf」を選択し、[ 開く ] をクリックします。
- [OK] をクリックし「ATI RAGE IIC PCI」を選択し、[OK] をクリックします。
- 「続行しますか」というメッセージが表示されますので、[ はい ] をクリックします。
- ファイルコピーが終了した後、[ 閉じる ] をクリックし、続いて [ 適用 ] をクリックします。
- 再起動を促すメッセージが表示されますので、[ はい ] を選択します。
- 再起動後、再度「ハードウェアの確認」のダイアログボックスが表示されましたら、[ 変更 ] をクリックします。
- コントロールパネルが表示されますので、「画面」をダブルクリックします。
- 解像度、および表示色数を以下のとおりに設定してください。

**カラーパレット：**65536 色
**デスクトップ領域：**800 × 600

- [ テスト ] ボタンを押し、テスト表示を行います。
- 正しく表示されたことを確認し、[ はい ] をクリックします。
- [ 適用 ] をクリックした後、[OK] をクリックします。
- セットアップ画面に戻り、画面の指示に従ってインストールを続行します。
- 今すぐ再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、[ はい ] をクリックします。
- 再起動処理が開始したらすぐにフロッピーディスクを取り出してください。

⚠注意

**再起動時の注意**
インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するようにメッセージを表示します。この場合、1 分ほど待ってから、再起動してください。

12 **自動的にサービスパック 4 のインストールが開始され、完了すると再起動します。**

再起動後、SBS 4.5 セットアップの画面に従って続行します。

13 **運用に入る前に「システム修復ディスク」を作成することをお勧めします。**

作成方法は、後述の「■システム修復ディスクについて」を参照してください。

## ■ SBS 4.5 インストール後の注意事項

以下に、SBS 4.5 インストール後の注意事項を示します。

- SBS 4.5 には Windows NT Service Pack 3 以前を絶対にインストールしないでください。誤動作の原因になります。
- FAX モデムカードを使用する COM ポートの設定について
  SBS 4.5 インストール直後は、シリアルポートに COM4 は設定されていません。FAX モデムカードを COM4 で使用する場合は、COM4 を追加設定する必要があります。ただし、ICU および FAX モデムカード側で事前に COM4 を設定後に、SBS 4.5 をインストールした場合は、異なる COM ポートにインストールされてしまいます。その場合は、いったん FAX モデムカードを削除し、COM4 を追加設定し、再度 FAX モデムカードを追加してください。また、FAX プリンタを使用する場合も、FAX モデムカードと同様に、FAX プリンタをいったん削除してから、追加してください。したがって、SBS 4.5 で COM4 を使用する場合は、SBS 4.5 をインストールしてから、装置側の COM4 の設定を行う必要があります。以下に、COM4 の追加設定方法を示します。

1 **「コントロールパネル」から「シリアルポート」を選択します。**

現在使用できるシリアルポートの一覧が表示されます。

2 **「追加 (A)...」を選択します。**

「新しいポートの詳細設定」画面が表示されます。

3 I/O **ポートアドレス、割り込み番号** (IRQ) **を正しく設定し、**[OK] **を選択します。**

ICU で設定した値および FAX モデムカードに設定した値と合わせます。

4 **再起動するかどうかのメッセージが表示されますので、「再起動する」を選択し、再起動します。**

FAX モデムおよび FAX プリンタの追加／削除方法の詳細については、SBS 管理コンソールのオンラインガイドで、FAX の項目を参照してください。

## ■ システム修復ディスクについて

SBS 4.5 のセットアップ後、またはシステム構成の変更後に、「システム修復ディスク」を作成してください。万一、Windows NT システムファイル、システム構成、およびスタートアップ時の環境変更などが損傷を受けた場合は、修復ディスク上に保存した修復情報を使ってこれらを再構築できます。

### ● 修復ディスクの作成方法

■ [ **用意するもの** ]

- 2HD のブランクフロッピィディスク 1 枚

1 **フロッピィディスクに「システム修復ディスク」というラベルを貼り、フロッピーディスクドライブにセットします。**

2 Small Business Server **コンソールの** [ **その他のタスク** ]─[ **ディスクの管理** ]─[ **システム修復ディスクの作成** ] **をクリックします。「システム修復ディスクを作成する」というヘルプが開きますので、ヘルプの指示に従ってシステム修復ディスクの作成を行ってください。**

### ● システムの修復方法

■ [ **用意するもの** ]

- 2HD のブランクフロッピィディスク 1 枚
- SBS 4.5 Disc1
- SBS 4.5 セットアップディスク 3 枚
- システム修復ディスク（上記で作成したもの）

■ [SBS 4.5 **のシステムを修復する前に** ]

SBS 4.5 に添付されている「セットアップディスク #2」ではシステムの修復ができません。

以下の手順に従って、「セットアップディスク #2」を準備します。

1 2HD **フロッピィディスクに「システム修復用セットアップディスク** #2**」というラベルを貼り、フォーマットします。**

2 **「システム修復用セットアップディスク** #2**」に、**SBS **のセットアップディスク** #2 **を複写してください。**

3 **「システム修復用セットアップディスク** #2**」内の「**WINNT.SIF**」ファイルを削除してください。**

ここで作成した「システム修復用セットアップディスク #2」をセットアップディスク #2 の代わりに使用して、システムを修復してください。

■ [ **システムの修復方法** ]

1 **電源投入前に作成したセットアップディスク #1 を準備します。**

セットアップディスク #1 をフロッピィディスクドライブにセットし、サーバに電源を投入します。

2 Windows NT Server **セットアップ初期画面が表示されます。**

セットアップ初期画面の指示に従って、セットアップディスクの交換を行います。

3 Windows NT Server **セットアップの「セットアップへようこそ」の画面で、「**R**」キーを押して修復を選択します。**

セットアップ画面のメッセージに従って、システムを修復します。

CD-ROM ドライバ、および SCSI ドライバのインストールについては、「■インストール手順」を参照してください。

4 **次のメッセージが表示されます。**

`Windows NT` **セットアップ**
[ **ファイル名** ] **は、セットアップが** `Windows NT` **をインストールしたときにコピーしたオリジナルのファイルではありません。**

ここでは必ず [Esc] キーを押し、ファイルをスキップしてください。

もし、[A] キー、または [Enter] キーを押し、ファイルを上書きしてしまうと、システムは正常に動作しなくなり、再インストールしなければなりません。

5 **自動的に再起動します。**

**ポイント**

- **システムの修正を行うと、情報によっては新規インストール状態に戻ってしまう場合があります。システムの修復後、再設定する必要があります。**
- SBS 4.5 **標準添付のアプリケーションについて、再インストールが必要になる場合があります。**
- **システムファイル、システム情報の損傷が大きい場合は、**SBS 4.5 **の再インストールが必要になる場合があります。その場合は、「■インストール手順」に従って再インストールしてください。**
- **システムのコンポーネントを変更したり、追加したりした場合、その度に修復ディスクを作成しなおしてください。**

## ■ 管理ソフトウェアのインストール

SCSI アレイコントーラカードをご使用の場合、管理ソフトウェアをインストールします。

### ● 管理ソフトウェアのスタートアップグループへの登録

SCSI アレイコントローラカードに添付のマニュアルに従って、管理ソフトウェアをインストールしてください。

● **管理ソフトウェアについて**

管理ソフトウェアには、DACMON（Disk Array Controller Monitor）ユーティリティと DACADM（Disk Array Controller Administration）ユーティリティがあります。

DACMON ユーティリティは、アレイ状況の監視を行うためのソフトウェアです。

DACADM ユーティリティは、アレイの管理を行うためのソフトウェアです。

詳細は、SCSI アレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。

### 2.3.3 その他の留意事項

「6.3.4 Windows NT Server 4.0 のインストール (SCSI アレイコントローラカード使用時 )」および「6.3.6 SBS4.0 のインストール (SCSI アレイコントローラカード使用時 )」内の記事を以下のように読み替えていただきますようお願いいたします。

「GP5-144/GP5-145/GP5-146」搭載時は、以下の SCSI アレイコントローラディスクを使用してください。

「GP5-143/144/145/146 Windows NT Drivers Disk」

## 2.3.4　NetWare 4.2 のインストール

**本サーバは、NetWare 4.2 を新規にサポートしています。**

これに伴い、取扱説明書（B1FH-4891-02）の以下の記事が変更となります。

- 「6.1 OS インストール時の注意」
- 「6.4.5 IntranetWare のインストール」の「■インストール時の留意事項」
- 「6.4.5 IntranetWare のインストール」の「■ハードディスクの区画設定と DOS 基本ファイルのコピー」
- 「6.4.5 IntranetWare のインストール」の「■ OS のインストール」

以降に説明する記事に読み替えていただきますようお願いいたします。

### 「6.1 OS インストール時の注意」

（ B1FH-4891-02 → 186 ページ）

以下の記事を追加していただきますようお願いいたします。

**■ インストールできる OS**

IntranetWare と表記している部分は、特に断りのない限り、NetWare4.2 を含みます。

### 「6.4.5 IntranetWare のインストール」の「■インストール時の留意事項」

（ B1FH-4891-02 → 226 ページ）

以下の記事を追加していただきますようお願いいたします。

- NetWare4.2 インストール時のメモリ認識

NetWare4.2 インストール時に、搭載メモリの全てを認識できない場合があります。その場合は、インストール中の、SERVER.EXE 起動後、［ALT］＋［ESC］でコンソール画面に移動して、REGISTER MEMORY コマンドでメモリを認識させます。

REGISTER MEMORY コマンドについては、NetWare のオンラインマニュアルを参照してください。

### 「6.4.5 IntranetWare のインストール」の「■ハードディスクの区画設定と DOS 基本ファイルのコピー」

（ B1FH-4891-02 → 226 ページ）

NetWare 4.2 の場合は以下の手順にしたがってください。

1　**ハードディスクの区画設定を行います。**

NetWare4.2 添付のライセンスディスクをサーバ本体のフロッピィディスクドライブにセットし、電源を投入します。DOS が起動し、インストーラが起動します。

2　**メッセージに従い、基本 DOS 領域を作成し、DOS 基本ファイルのコピーを行います。**

3　CONFIG.SYS **ファイル** /AUTOEXEC.NCF **ファイルを編集します。**

インストール中の CONFIG.SYS / AUTOEXEC.BAT 編集画面で、それぞれのファイルの最後に以下の行を追加し、保存します。

```
[CONFIG.SYS]
DEVICE=C:¥ATAPIMGR.SYS
DEVICE=C:¥SR_ASPI.SYS /D:CD_01

[AUTOEXEC.BAT]
NWCDEX /D:CD_01 /M:32
```

4　CD-ROM **用ドライバをインストールします。**

フロッピィディスクを本体添付のセットアップディスク #4 に交換し、以下のコマンドを入力します。

```
A:¥>copy a:¥cdrom¥sr_aspi.sys c:¥ [Enter]
A:¥>copy a:¥cdrom¥atapimgr.sys c:¥ [Enter]
```

5　**本体添付のセットアップディスク #4 を取り出し、再起動します。**

**「6.4.5 IntranetWare のインストール」の「■ OS のインストール 手順 3」**

（ B1FH-4891-02 → 228 ページ）

3　IntranetWare **のインストーラを起動します。**

以下のコマンドを入力します。

[NetWare4.2 の場合 ]

```
D:¥>install [Enter]
```

[IntranetWare の場合 ]

```
D:¥>a: install english [Enter]
```

## 2.3.5　NetWare 5 ご使用時の運用上の留意事項

本サーバで、NetWare 5 をご使用時の留意事項を以下に示します。

### ■ NetWare5 オプションカードご使用時の留意事項

#### GP5-145 と GP5-127 を同時に搭載してご使用の場合

NetWare5 にて GP5-145 と、GP5-127 を同時にご使用する場合、以下のメッセージが表示されますが、ドライバは正常に組み込まれます。[Enter] キーを押した後、「操作の選択」画面から「ファイルをコピーしない」を選択し、ドライバインストールを続行して下さい。

[ メッセージ ]

**ファイル「**`C:¥NWSERVER¥DRIVERS¥AIC78U2.HAM`**」が見つかりませんでした** `(nwconfig-5-233)`**。続行するには** `<Enter>` **を押してください。**

### ■ NetWare5 高負荷運用時の留意事項

NetWare5 で高負荷 (1CPU で平均 70% を超える場合 ) にて運用を行う場合は、AUTOEXEC.NCF ファイルの STARTX.NCF の記述を無効にするか、または削除して、NetWare5 の GUI 画面を起動しないようにしてください。

## 2.4　仕様

1999 年 10 月発表タイプ／ 1999 年 8 月発表タイプの本体仕様および内蔵ハードディスクユニットの仕様を以下に説明します。

### 2.4.1　本体仕様

（ B1FH-4891-02 → 284 ページ）

本サーバの仕様は、次のとおりです。
他の周辺装置の仕様については、各装置に添付の取扱説明書をご覧ください。

GRANPOWER5000 モデル 380（発表月：1999/10）

| タイプ | | FD タイプ | NT4.0 タイプ<br>タイプ A （TearmWARE Office 添付タイプ）<br>タイプ B （Lotus Note 添付タイプ）<br>タイプ C （Exchange Server 添付タイプ）<br>SSP タイプ | NT4.0 タイプ（アレイ）<br>18.2GB タイプ | 36.4GB タイプ |
|---|---|---|---|---|---|
| 型名 | Pentium ®III 600MHz(512KB) | GP538Y1A5 | GP538Y1NA5( タイプ A) ／<br>GP538Y1NB5( タイプ B) ／<br>GP538Y1NC5( タイプ C) ／<br>GP538Y1ND5(SSP タイプ 1) | GP538Y1T5 | GP538Y1V5 |
| | Pentium ®III 550MHz(512KB) | GP538V1A5 | GP538V1NA5( タイプ A) ／<br>GP538V1NB5( タイプ B) ／<br>GP538V1NC5( タイプ C) ／<br>GP538Y1ND5(SSP タイプ 1) | GP538V1T5 | GP538V1V5 |
| | Pentium ®III 500MHz(512KB) | GP538N1A5 | GP538N1NA5( タイプ A) ／<br>GP538N1NB5( タイプ B) ／<br>GP538N1NC5( タイプ C) ／<br>GP538N1ND5(SSP タイプ 1) | GP538N1T5 | GP538N1V5 |
| CPU | 周波数 / 2 次キャッシュ | Pentium ®III 500MHz、550MHz、600MHz / 2 次キャッシュ 512KB | | | |
| | マルチ数 | 1（最大 2） | | | |
| メモリ | 標準 | 256MB（256MB DIMM × 1 枚） | | | |
| | 増設単位 | 64 / 128 / 256 / 512 MB（DIMM 1 枚構成） | | | |
| | 内蔵最大 | 2GB（512MB × 4 スロット） | | | |
| ビデオ RAM 容量、グラフィックス | | 2MB VGA チップ：ATI RAGE II C (PCI)、648 × 480、800 × 600、1024 × 768<br>表示色：解像度、OS により異なる | | | |
| サーバモニタモジュール | | オプション | | | |
| 内蔵 5 インチベイ | | 3 ベイ（標準搭載含む） 種類：CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、DLT ユニット（2 ベイ占有）、1/4 インチ CRMT ユニット、TRAVAN NS ユニット | | | |
| | 標準搭載 | 32 倍速 CD-ROM（IDE） | | | |
| 内蔵 3.5 インチハードディスクベイ | | 8 ベイ（標準搭載ハードディスクユニットを含む）、全ベイホットプラグ対応 | | | |
| | 標準 | オプション | 9.1GB × 1（SCSI） | 9.1GB × 3（SCSI） | 18.2 × 3（SCSI） |
| | 増設単位 | 9.1GB / 18.2GB（Ultra2 Wide SCSI） | | | |
| | 内蔵最大 | 18.2 × 8 ベイ＝ 145.6GB | | | |
| ディスクアレイ | | オプション | | 標準 | |
| バックアップキャビネット | | オプション | | | |
| 拡張スロット | | PCI × 4、PCI / ISA 共有× 1、ISA × 1 | | | |
| フロッピィディスクドライブ | | 3.5 インチ（2 モード 1.44MB/720KB）標準搭載 | | | |
| インタフェース | | LAN（100BASE-TX / 10BASE-T）× 1（マザーボード標準搭載）、シリアル× 2、パラレル× 1、キーボード、マウス、モニタ | | | |
| キーボード／マウス | | 標準添付 | | | |
| 外形寸法 | | 横幅 307mm ×奥行き 700mm ×高さ 474mm | | | |
| 質量 | | 最大 55Kg | | | |
| 消費電力／発熱量 | | 最大 490W ／ 1764KJ/h | | | |
| 電源 | | AC100V(50/60Hz) ／ 2 極接地型 | | | |
| 電源ユニット | | 標準で 1 台、最大 3 台（冗長電源可能） | | | |
| エネルギー消費効率 (*) | | Pentium ®III 600MHz 搭載タイプ : P 区分、0.086 / Pentium ®III 550MHz 搭載タイプ : P 区分、0.094<br>Pentium ®III 500MHz 搭載タイプ : P 区分、0.11 | | | |

＊: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

GRANPOWER5000 モデル 380（発表月：1999/8）

| タイプ | | FD タイプ | NT4.0 タイプ<br>タイプ A<br>（TearmWARE Office 添付タイプ）<br>タイプ B<br>（Lotus Note 添付タイプ）<br>タイプ C<br>（Exchange Server 添付タイプ）<br>SSP タイプ | NT4.0 タイプ（アレイ）<br>9.1GB タイプ | <br>18.2GB タイプ |
|---|---|---|---|---|---|
| 型名 | | GP538Y1A3 | GP538Y1NA3( タイプ A) ／<br>GP538Y1NB3( タイプ B) ／<br>GP538Y1NC3( タイプ C) ／<br>GP538Y1ND3(SSP タイプ 1) | GP538Y1T3 | GP538Y1V3 |
| CPU | 周波数 /<br>2 次キャッシュ | Pentium ®III 600MHz<br>（2 次キャッシュ 512KB） | | | |
| | マルチ数 | 1（最大 2） | | | |
| メモリ | 標準 | 128MB（128MB DIMM × 1 枚） | | | |
| | 増設単位 | 64 / 128 / 256 / 512 MB（DIMM 1 枚構成） | | | |
| | 内蔵最大 | 2GB（512MB × 4 スロット） | | | |
| ビデオ RAM 容量、グラフィックス | | 2MB VGA チップ：ATI RAGE Ⅱ C (PCI)、648 × 480、800 × 600、1024 × 768<br>表示色：解像度、OS により異なる | | | |
| サーバモニタモジュール | | オプション | | | |
| 内蔵 5 インチベイ | | 3 ベイ（標準搭載含む）　種類：CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、DLT ユニット（2 ベイ占有）、1/4 インチ CRMT ユニット、TRAVAN NS ユニット | | | |
| | 標準搭載 | 32 倍速 CD-ROM（IDE） | | | |
| 内蔵 3.5 インチハードディスクベイ | | 8 ベイ（標準搭載ハードディスクユニットを含む）、全ベイホットプラグ対応 | | | |
| | 標準 | オプション | 9.1GB × 1（SCSI） | 9.1GB × 3<br>（SCSI） | 18.2 × 3<br>（SCSI） |
| | 増設単位 | 9.1GB / 18.2GB（Ultra2 Wide SCSI） | | | |
| | 内蔵最大 | 18.2 × 6 ベイ＋ 9.1 × 2 ベイ＝ 127.4GB | | | |
| ディスクアレイ | | オプション | | 標準 | |
| バックアップキャビネット | | オプション | | | |
| 拡張スロット | | PCI × 4、PCI / ISA 共有× 1、ISA × 1 | | | |
| フロッピィディスクドライブ | | 3.5 インチ（2 モード 1.44MB/720KB）標準搭載 | | | |
| インタフェース | | LAN（100BASE-TX / 10BASE-T）× 1（マザーボード標準搭載）、シリアル× 2、パラレル× 1、キーボード、マウス、モニタ | | | |
| キーボード／マウス | | 標準添付 | | | |
| 外形寸法 | | 横幅 307mm ×奥行き 700mm ×高さ 474mm | | | |
| 質量 | | 最大 55Kg | | | |
| 消費電力／発熱量 | | 最大 490W ／ 1764KJ/h | | | |
| 電源 | | AC100V(50/60Hz) ／ 2 極接地型 | | | |
| 電源ユニット | | 標準で 1 台、最大 3 台（冗長電源可能） | | | |
| エネルギー消費効率 (*) | | P 区分、0.086 | | | |

* : エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

## 2.4.2　内蔵ハードディスクユニットの仕様

内蔵ハードディスクユニットの仕様を以下に示します。

- 内蔵ハードディスクユニット（SCSI 規格）

| 型名 | GP5-HDH96 | GP5-HDH83 |
|---|---|---|
| インタフェース | Ultra2/Wide SCSI または Ultra/Wide SCSI（注 1） | |
| 記憶媒体 | 3.5 インチハードディスク | |
| 記憶容量 ( 注 2) | 9.1GB | 18.2GB |
| セクタ容量 | 512Byte | |
| ディスク枚数 | 3 | 5 |
| ヘッド数 | 5 | 10 |
| シリンダ数 | 11,474 | |
| 最大データ転送速度 | 40MB/s(Ultra/Wide)<br>80MB/s(Ultra2/Wide) | |
| 平均回転待ち時間 | 4.17ms | |
| 平均シーク時間 | 7.0ms(Read)<br>8.0ms(Write) | |
| 回転数 | 7200rpm | |
| 外形寸法<br>(W X D X H) | 101.6 X 146.0 X 25.4 (mm) | |
| 質量 | 630g | |

注 1）　：SCSI バスの環境に合わせて自動的に切り替わります。

注 2）　：記憶容量は、フォーマット時、1GB=1000 $^{3}$ B 換算です。

# 3. 「GRANPOWER5000 モデル 380(1998 年 11 月発表タイプ ) 取扱説明書 (B1FH-4891-02)」の訂正

- P.190

SCSI アレイコントローラカードの設定（Adavanced Functions）に誤りがありました。以下にしたがって、読み替えてください。

| オプション設定項目 | 本体内蔵ハードディスクを接続するときの設定 | | |
|---|---|---|---|
| | (GP5-142 の場合 ) | (GP5-144 の場合 ) | (GP5-145/GP5-146 の場合 ) |
| • Hardware parameters | | | |
| Automatic Rebuild Management | Disabled | Disabled | Disabled |
| Strageworks Fault Mgmt(TM). | Disabled | Disabled | Disabled |
| • Physical Parameters | | | |
| Rebuild/Add Capacity rate | 50 | 50 | 50 |
| Segment size (Kbytes) | 8 | 8 | 8 |
| Sprite size (Kbytes) | 64 | 64 | 64 |
| • SCSI Xfr Parameters (Channel 0) | | | |
| Data Transfer rate(MHz) | 20MHz | 40MHz | **40MHz** |
| Command tagging | Enabled | Enabled | Enabled |
| SCSI data bus width | 16 | 16 | 16 |
| • SCSI Xfr Parameters (Channel1) | | | |
| Data Transfer rate(MHz) | 20MHz | 40MHz | **40MHz** |
| Command tagging | Enabled | Enabled | **Enabled** |
| SCSI data bus width | 16 | 16 | **16** |
| **• SCSI Xfr Parameters (Channel2)** | | | |
| **Data Transfer rate(MHz)** | **-** | **40MHz** | **-** |
| **Command tagging** | **-** | **Enabled** | **-** |
| **SCSI data bus width** | **-** | **16** | **-** |
| • Startup Parameters | | | |
| Spin up option | Automatic | Automatic | Automatic |
| Number of devices per spin | 2 | 1 | **1** |
| Delay(seconds) | 6 | 12 | **12** |